

Ⅲ 市政に関する意見、要望等

(i) 総務財政常任委員会所管

地上デジタル放送に関する事／防災に関する事／交通安全に関する事／
指定避難施設の耐震化について／長期総合計画に関する事／
行財政改革・事務改善に関する事／デマンドタクシー・地域交通に関する事／
新ごみ処理施設（仮称）仙南クリーンセンター建設に関する事／
協働のまちづくりに関する事／定住促進いらしゅいプランに関する事／
姉妹都市交流に関する事／
グリーンフィールド市交流 20 周年記念事業に関する事／
市民センターの老朽化について／予算やその他の財政に関する事／
市有財産に関する事／市税に関する事／本会議の当局出席者に関する事

(ii) 教育厚生常任委員会所管

後期高齢者医療に関する事／結婚相談に関する事／
消費生活に関する事／健康づくりに関する事／
地域医療・小児医療に関する事／介護に関する事／小・中学校に関する事／
自治センターに関する事／総合体育館に関する事／図書館に関する事／
郷土資料館に関する事／花いっぱい運動に関する事

(iii) 産業建設常任委員会所管

有害鳥獣駆除に関する事／農業振興公社に関する事／
たい肥センター「農業の館」に関する事／農村環境改善センターに関する事／
角田ブランドに関する事／
賑わいのまちづくり基本計画策定事業に関する事／
商工業、観光等に関する事／道路、公園等に関する事／
市営住宅に関する事／町尻土地地区画整理組合に関する事／
除雪に関する事／企業誘致に関する事／卸売市場に関する事／
雇用に関する事／水道料金に関する事

No. 1

意見・質問・要望等

来年7月より地デジの放送が開始されるので、助成の件で総務課に電話で聞いたら、まだ国会で認可が通過していないため、まだ分からない。5月中旬頃だということでしたが…。【東根地区】

当日の回答

まず電波状態を調査してからテレビを購入してください。総務省では、放送難視地区を調査中です。共同受信施設を新設する場合は建設費については国からの補助制度がありますが、維持管理費用は自己負担です。また、NHKの補助制度もあるようです。

今後の取組み

総務省東北総合通信局は6月から難視聴地区を巡回して地デジ受信対策や共同受信施設設置についての説明会を開催しており、既に岡、坂津田上、坂津田中、鳩原、枝野1区、新田、地藏堂、藤尾1区・6区、君萱、西根1区、8区で行いました。地デジ全般に関する説明会の要請については、総務省 地デジコールセンター ☎0570-07-0101 までお問い合わせください。【回答:総務課】

No. 2

意見・質問・要望等

西根では、集中豪雨での土砂災害が度々ある。要所要所に雨量の計測地点を設けて、被害回避に向けた調査をしてほしい。【西根地区】

当日の回答

当局に要望します。予見という観点からして、非常に重要なことだと思いますので、防災計画に盛り込むよう要望していきます。

今後の取組み

降雨量と土砂崩落との関連を調査することは、土砂災害を予測するうえで、有効な方法と思われます。調査方法等地区振興協議会と協議・検討していきたいと思えます。【回答:防災安全課】

No. 3

意見・質問・要望等

昨年の枝野の林野火災を教訓にして、市では防災対策について話し合っているのか。市の動きが一切見えない。また、火事になった部分をその後どうするのか。【西根地区】

当日の回答

林野火災の予防対策は、議会でも議論はしていない。枝野の焼け跡は、「目黒区民の森」として植林する構想があります。平成22年度予算で270万円を計上している。なお、この一帯は保安林なので、3年間かけて20ヘクタールの植林について県事業の災害復旧が進められる予定です。

今後の取組み

春の火災予防運動に合わせ、林野火災により土砂災害等の甚大な被害を及ぼすことなど、林野火災防止を啓発するチラシを婦人防火クラブ等を通じて各戸配布している。また、広報かくだにより林野火災に対する注意喚起を促している。今後も、広報等により一人ひとりの火災予防に対する意識の高揚を図っていききたいと思えます。【回答:防災安全課】

No. 4

意見・質問・要望等 防災体制について、宮城県沖地震の再来が叫ばれている。防災用品を備えて街のまんなかに防災用具置き場をつくってもらいたい。【角田地区】

当日の回答 消防ポンプ置き場を中心として考えていきたい。仙台市をはじめ大都市では防災コミュニティーセンターを各区の町内ごとにつくり、自主防災組織に管理運営を任せすでに訓練も実施して体制を整えている。今後これらを参考にしながら進めていきたいと思います。

今後の取組み 現在、数か所の倉庫に分散し、非常食料品や水防用資材を備蓄していますが、より効率的な管理について先進地の事例等を参考に、自主防災組織の整備状況も考慮しながら検討したいと思います。【回答:防災安全課】

No. 5

意見・質問・要望等 災害時の避難場所となる地区自治センターや地域の集会所の耐震診断をしてほしい。避難場所として指定できるのか。【西根地区】

当日の回答 現在は、学校優先で耐震対策をしています。これが終わり次第、自治センターも計画に入っております。更に地区集会所も公共施設なので当局に要望してまいります。

今後の取組み 自治センターの耐震診断については、所管課で検討中です。【回答:防災安全課】

No. 6

意見・質問・要望等 山元ICへのアクセス道路が部分開通したので快適になったが、通学路として使用している市道交差点に一旦停止線や信号機を設置する必要がある。早く設置してほしい。【藤尾地区】

当日の回答 県に要望を出しているが、県公安委員会の所管である。全線開通時(平成22年9月)までには、信号機が設置される予定になっているので確実に進めたいと思います。

今後の取組み 報告会での回答の通り、本年9月までには信号機が設置される計画ですが、角田警察署及び県公安委員会に早期設置を要望していきます。【回答:防災安全課】

No. 7

意見・質問・要望等 金津中学校校門前の交差点とその先の県道交差点に一旦停止の標識を立ててほしい。中学校側から車両が飛び出してくるので危険である。【藤尾地区】

当日の回答 持ち帰り調査いたします。

今後の取組み 一旦停止等の通行を規制する標識の設置等については、県公安委員会の所管であります。施設の所管課及び角田警察署と協議し対応します。【回答:防災安全課】

No. 8

意見・質問・要望等

角田市の様々な長期計画が今年22年、締めくくりの年となっているなら、その結果(総括)を市民にきちんと示して欲しい。市民にアンケートなどをとっているが、計画に対し、どうなったのか報告をして欲しい。結果報告がなければ、最初から計画などたてるな…。市民へ長期計画の締めくくりの報告を是非、やって欲しい。【北郷地区】

当日の回答

「総括なくして、次年度、(計画)つくれる訳がない」ということでありますので、要望として承り、当局に伝えておきます。

今後の取組み

現在、市では、平成23年度から向こう10年間を見据えた角田市第5次長期総合計画を策定中であり、市民の意見をできるだけ計画に反映するために、市民意識調査・まちづくり懇談会・中学生ワークショップ、事業所等ヒアリングなどを実施してきています。また、計画へ具体的に意見・提言を反映するため外部の審議会を設置し、これまで数回開催し様々な提案をいただいています。前計画の総括につきましては、審議会のなかで説明し了解を頂いているが、市民にも気軽にみてもらえるよう市のHPにも資料として掲載しています。【回答:政策企画課】

No. 9

意見・質問・要望等

収入が減ったようだが、職員はそれを改善・提案するようなことをしているのか。お金が無いから貯金を使うという事は、普通の家庭ではありえない。2人でやる仕事を1人でやるとか、そういうことをしているのか。今までどおりにやっていたはダメ。取組みや工夫をしているのか。【横倉地区】

当日の回答

庁内の行政改革を5年前から行っています。今年新たな集中改革プランをスタートさせました。時間外勤務についても新たに減らすよう取り組んでいます。人件費率について県内でも上位でしたが、去年あたりから下がっています。退職しても補充しない等して取り組んでいます。事業の見直しも取り組んでもらうよう議会としても意見を述べている。

今後の取組み

本市においては、平成17年度を初年度とした行財政改革集中プラン(5年間)を策定し、さらに平成22年度を初年度とした新行財政改革集中プラン(5年間)を新たに策定し行財政改革を進めているが、適正な財源の確保のために、職員数の削減、起債の低利借換、公有地の売払い等により持続可能な行政運営を進めています。特に、行財政改革は職員のコスト意識を持つことや、仕事への志気を高めることが重要なので、事務改善や事業刷新のための職員提案募集を平成22年5月から行っています。【回答:政策企画課】

No. 10

意見・質問・要望等

市民の諸々の声に耳を傾けてもらい、行政改革してほしい。組織改革や意識改革は辛さや苦しみを伴うものだが、市長の後押しをするのが、議員の務めでしょう。【角田地区】

当日の回答

提案として受け止めます。
私たちは、市民の代表として、政策の決定や監視、評価といった機能にとどまらず、市民の皆様も多様な意見を反映させるべく、独自の政策立案機能を高めていければと考えています。そのためには、議会報告会等を積極的に実施し、市民の皆さんが議会活動に参加していただき、直接対話のなかで、議会として何をしなければならぬかを考えていきたいと思えます。

今後の取組み

本市においては、平成22年3月に新しい行財政改革集中プランを策定し、平成22年度から5ヶ年間の新たな行財政改革を進めています。□新プランについては、市役所改革と財政改革を2本の柱に掲げ、さらに20の推進項目の中に「議会改革」を設け、市民に開かれた議会運営、議会機能の充実強化を目標にしているため、今後も市長部局と一体となり本市の行財政改革を進めます。【回答:政策企画課】

No. 11

意見・質問・要望等

自分の責任においてどれだけ取り組んでいるのか。【横倉地区】

当日の回答

人件費は、職員数が減少しているためです。
職員は集中改革プランに基づき行財政改革を行っており、議員は議会改革検討委員会において様々な議会改革に取り組んでいます。

今後の取組み

本市においては、平成22年3月に新しい行財政改革集中プランを策定し、平成22年度から5ヶ年間の新たな行財政改革を進めています。□新プランについては、市役所改革と財政改革の2本の柱に掲げ、行財政改革に取り組んでいきますが、特に仕事に対する職員の意識改革を進めることが重要であることより、そうした観点も含めこれから行政運営を進めていきます。【回答:政策企画課】

No. 12

意見・質問・要望等

市役所の対応について。窓口の一本化で手続きを終えるようにすべきである。あちこち振り回すことのないように。【横倉地区】

当日の回答

当局に伝えます。

今後の取組み

市役所の各業務の中で、窓口対応が多いのは主に市民福祉部関連各課であるが、行政改革の中で平成15年度に住基・戸籍・国保・年金・環境衛生・防犯・生活相談などに関わる課を1つのエリアにまとめて窓口来庁者への負担を少しでも減らせるよう努めてきました(ワンストップサービス)。□窓口来庁者が何か所も回らないで一か所で用件が済むようにするため、今後も各担当課の職員が来庁者のところに来て対応する方法など、窓口来庁者の負担軽減に努めます。【回答:政策企画課】

現在の機構上、一か所で完了しない場合もありますが、各課の連携を図り極力移動の少ない対応を行ってまいります。【回答:総務課】

No. 13

意見・質問・要望等 デマンドタクシー、ラビット君を利用して市内の病院へ行くのに利用しています。よくアンケートをとられるが、全然改善されていない。【横倉地区】

当日の回答 検討するよう当局に伝えます。

今後の取組み 利用者の皆さまに対しアンケート調査を実施している。その調査結果については次のとおりです。

□

①「ラビットくん乗車調査」平成19年度(10月1日～10月12日実施) 回答者99人(満足65人、やや満足27人、普通5人、やや不満1人) 平成20年度(11月17日～12月5日実施) 回答者90人(満足75人、やや満足9人、普通5人、やや不満1人) 因多数の方から満足またはやや満足の回答を頂いています。

□

②「郵送による調査」(平成20年12月26日郵送実施)対象者100人(利用回数が数回程度、最終利用日から数か月経過している方を対象) 回収率51%(満足28人、やや満足10人、普通7人、やや不満3人、不満1、無回答2)

アンケート調査により、いろいろな要望を頂いているが、直ちにできるもの、時間がかかるもの、対応が難しいものなどがあり、できるものから対応しています。【回答:政策企画課】

No. 14

意見・質問・要望等 2回目の議会報告会でも話したが、東船岡駅へ通じる歩道をなんとかして欲しい。土地を買収して新しい道路を作れということではなく、線路の傍(300m)側溝に蓋をするなどして1, 5m程の歩道を作って欲しい。妙立寺に相当な桜の木々があり、花見の観光客も呼びこめる通路が欲しい。【北郷地区】

当日の回答 隣接の柴田町の滝口町長へも話してみる。現場確認していきたい。ご要望を承ります。

今後の取組み 用地については、鉄道施設の管理用のためのものであるため、歩道をつくる事はできません。【回答:政策企画課】

No. 15

意見・質問・要望等

- ①仙南クリーンセンターについて議会はどう思っているのか。
- ②枝野地区は反対だということは理解しているのか。また、前市長が枝野地区には新クリーンセンターを建てないという約束をした。
- ③旧女子高跡地につくり、余熱を利用して第三セクターで老人ホームでもつくればどうか。
- ④大友市長に後悔させない決断をさせることが必要。議会から建設地の提案をして欲しい。【枝野地区】

当日の回答

- ①仙南クリーンセンターの建設については議会としてどこどこに決めるという事はない。仙南地域広域行政事務組合の問題で、場所は角田市内と決まっており、仙南広域で決めることであるが、仙南広域では地元(角田市)で決めてくれと言っている。2市7町の財政的な問題により、枝野地区案が出てしまったが、現在、建設地について市長は本気になって考えている。
- ②理解しています。
- ③現在2か所の案が出ているが、第3の案はその結論が出てからかと思えます。ご提言として受け止めます。
- ④特別委員会で議員の意見を聞く場を設定しようと思っている。拙速な判断はしないでほしいと市長には話している。

今後の取組み

仙南地域広域行政事務組合理事会は、平成14年に新ごみ処理施設の計画地を角田市の毛萱字丸森地内に決定しました。しかし、この場所に施設を建設する場合に搬入道路の改良等に要する費用負担が大きくなるのではないかと意見が仙南広域理事より出され、平成20年に現計画地A案に現有敷地内B案が比較候補地に加わり、平成21年度に各地区説明会を開催し、市民の意向確認を実施しました。また、市議会については、議会内にごみ処理等対策調査特別委員会が設置されているので、議会の意向を確認し、最終的には市民の意向と議会の意向を踏まえ、建設場所を決定したいと思います。
【回答:政策企画課】

No. 16

意見・質問・要望等

角田市クリーンセンターの建設場所は、仙南広域2市7町の中心部に最も近い、角田市の西北部にすべきだ。現角田衛生センターまでは15キロも遠くなり、広域全体の収集車両の燃費・輸送コストを考えれば莫大なロスとなり、毛萱と枝野の建設費の差20億円どころではない。稼働後のコスト削減を考慮すべきだ。【藤尾地区】

当日の回答

市長が当地区での懇談会の席上、発言した通りです。議会でも調査特別委員会を設置して検討しています。

今後の取組み

仙南地域広域行政事務組合理事会は、平成14年に新ごみ処理施設の計画地を角田市の毛萱字丸森地内に決定しました。しかし、この場所に施設を建設する場合に搬入道路の改良等に要する費用負担が大きくなるのではないかと意見が仙南広域理事より出され、平成20年に現計画地A案に現有敷地内B案が比較候補地に加わり、平成21年度に各地区説明会を開催し、市民の意向確認を実施しました。また、市議会については、議会内にごみ処理等対策調査特別委員会が設置されているので、議会の意向を確認し、最終的には市民の意向と議会の意向を踏まえ、建設場所を決定したいと思います。
【回答:政策企画課】

意見・質問・要望等

①ごみ焼却炉について、どこにどの位の予算でつくろうとしているのか。

②地元対策費はどのような時点で発生するのか。【桜地区】

当日の回答

①現在2か所の候補地があり議論しています。A案(毛萱字丸森地内)は現計画地として、B案(枝野地区)は候補地として、両地区を比較検討中です。6月頃結論を出す予定と聞いています。枝野地区に、これから説明会に行く予定等も聞いています。A案はお金がかかりすぎると言われているが、地元で反対の声も出ています。議会は現時点で五分五分の反応です。最終的には仙南地域広域行政事務組合の決断となります。

②迷惑施設を仙南2市7町で分け合って設置するという考えです。それぞれの自治体はそれぞれの施設の維持管理費等の負担も出てきます。

今後の取組み

仙南地域広域行政事務組合理事会は、平成14年に新ごみ処理施設の計画地を角田市の毛萱字丸森地内に決定しました。しかし、この場所に施設を建設する場合に搬入道路の改良等に要する費用負担が大きくなるのではないかと意見が仙南広域理事より出され、平成20年に現計画地A案に現有敷地内B案が比較候補地に加わり、平成21年度に各地区説明会を開催し、市民の意向確認を実施しました。また、市議会については、議会内にごみ処理等対策調査特別委員会が設置されているので、議会の意向を確認し、最終的には市民の意向と議会の意向を踏まえ、建設場所を決定したいと思います。
【回答:政策企画課】

-

意見・質問・要望等

①協働のまちづくりの成果は上がっているのか。【角田地区】

②協働のまちづくりについて、条例化しないのはなぜですか。【横倉地区】

当日の回答

①徐々に成果が出て来るのではないのでしょうか。若い方に行政に参加していただき、また参加しない方にも声がけをしていただきたいと思います。

②協働のまちづくりについては、市民の皆さんのご協力を求めるものが多いので、そのよりどころとなるものをつくるのは、非常に大事だと思います。今後、条例化に向けて取り組みたいと思います。

今後の取組み

①平成18年度に市民と行政の協働のまちづくりが本格的にスタート、角田市協働のまちづくり推進基本方針を策定し、具体的な推進体制づくりとして7つの項目を掲げました。その7つの項目の1つである地区振興協議会を小学校単位に設立。地区振興協議会では、地区計画策定作業を通して、地区の課題の情報共有や地区民の話し合いの場となったことが一つの成果であり、将来的には、地区振興協議会の中に民主的な話し合いの場(文化)が根付き、意思決定の仕組みができることを目指しています。なお、地区計画を策定した地区振興協議会では、まずは自分たちできることから始めており、身の丈に合った活動を絶え間なくコツコツとやっていくことで、その中から、始めたことへの愛着、誇り、生きがいが少しずつ育ってくるのではと考えています。また、コミュニティづくりや自治づくりは「一生もの」なので、疲れないように、頑張りすぎないように、地域の実状に応じて育てていくことが必要であると考えています。

②市民と行政の協働のまちづくりを進めるに当たり、自治体としての法的根拠がないことから、必要に応じて(仮称)市民と行政の協働のまちづくり推進基本条例(自治基本条例)制定に向けた検討も必要と考えられます。しかしながら、状況によっては、基本条例を制定することも必要ですが、まずは、地域の課題を自分たちで解決できるように、協働のパートナーである地域の力を育てていくことが必要であると考えます。【回答:政策企画課】

意見・質問・要望等

協働のまちづくりの事業に参加、従事しているときに怪我や事故にあった場合の措置はどうなっているのか。道路での作業などは危険を伴うが、市で保険をかけているのか。【横倉地区】

当日の回答

協働のまちづくりは幅広い分野で活動しているので、これらの活動に対して安全性の備えは大変重要です。地域で作業するとき、保険をかけてやっている地域もある。保険を市で出しているところもあります。
一般的に、市の主催事業については市民賠償保険の対象となりますが、協働のまちづくりに関しては対象になるかは、当局に確認するとともに、補償については制度化することを要望します。

今後の取組み

市では、市民総合賠償保障保険に加入している。市が関与している活動だけがなどした場合に対象となる制度です。
補償保険の対象となる損害：市が行う業務（行事等の主催、共催下）の遂行に起因する急激かつ偶然な外来の事故によって、住民等第三者が死亡又は後遺障害、もしくは入院通院を伴う障害を被った場合、当該被災者に支払う補償費用を保険金額を限度として支払われるものです。

補償保険の対象となる市の活動：市が主催・共催する社会体育活動、社会福祉活動、生涯学習活動□その他市が主催・共催し、住民が参加する行事等□社会奉仕活動（ボランティア活動）

※社会奉仕活動の場合、団体または住民個人が、「無報酬で行われる活動」「労力の提供がなされること」「団体の場合は当該団体の管理下、住民個人の場合は市の管理下でおこなわれること」のすべての要件を満たして行う市から依頼を受けた住民のための業務・活動。

以上のように、保険の対象となる損害などに条件があることから、ケースによっては該当しない場合もあり得るので、地域で作業する場合は、危険な作業が伴ったり、手厚い補償を考えるのであれば各団体等で保険に加入することをお勧めします。なお、市が全く関与していない活動については、対象とならないので、独自に保険をかけた方がよいものと思われま。【回答：政策企画課】

意見・質問・要望等

【協働のまちづくりについて】

①角田地区の場合、議員はどんな立場なのか。

②市民の生の声を聞いていますか。例えば、道路の排水路の汚泥を処理するのに、蓋を上げなければならないが、何キロあるか知っているか。そして、その蓋を上げる機械が何台あるか知っているか。平日に作業をしているが、平日は年寄りだけでやりようがない。バキュームカーを買えばいいのに、お金がかかると言う。「農業の館」にお金をたくさん使っているんだから、できるだろう。もっと市民に還元される施策をしてほしい。

③地区計画を意味のあるものにしてほしい。【角田地区】

当日の回答

①議員は顧問です。

②排水路の蓋の重さは40キロぐらいです。

③地区住民がつくった計画は、大事なものです。これまでの視点を変えて、施策を立てるよう働きかけます。

今後の取組み

①市議会議員は、角田地区振興協議会規約第8条の規定に基づく顧問であり、顧問は、会長の求めに応じ会議において意見を述べることができます。【回答:政策企画課】

②蓋の重さは30～40kgで、蓋上げ機は4台あります。【回答:土木建築課】

③地区計画策定済(総会又は役員会で了承)は5地区(横倉・枝野・藤尾・東根・桜)、中間報告書作成は2地区(北郷・西根)、課題を整理し地区計画(案)作成は1地区(角田)、課題を抽出し整理済みは1地区(小田)です。市では、地区計画における理念や将来像等の基本的事項は新たな長期総合計画に盛り込むことを考慮しています。

※地区計画策定の意義

地区計画は、地区の目標・課題など住民の想いをまとめたものであるが、単に計画書をつくることが目的ではなく、地域の課題を地域の人たちが共有し、その解決策を行政頼みでなく、行政と一緒に地域も知恵を出す環境をつくること。すなわち、地域の話し合いの場づくりであり、その話し合いを繰り返すことによって、協議会の中に民主的な意思決定の仕組みが醸成されてくるのではと考えます。【回答:政策企画課】

意見・質問・要望等

- ①いらっしゃいプランの改正の内容についてどうなっているか。
- ②まちづくり対策である「いらっしゃいプラン」は、市の中心部(町なか)一辺倒の政策だ。東北本線にも近い君萱・毛萱などにも目を向けるべき、幅広い視点に立って施策を進めるべき。魅力あるまちづくりに工夫を願いたい。【西根地区】
- ③定住促進いらっしゃいプランで新たな世帯が増えているのか。魅力を出すためのプランだと思うが、求められているのは第1に「子どもの教育環境」、第2に「小児医療」で、これが角田に引っ越してくる決め手になる。それなのに仙南病院から小児科がなくなってしまったが、復活するのは難しいことは知っているのか。いらっしゃいプランだけでは世帯を増やせない。小児医療をどう守るのか、市民の代表として考えてほしい。子どもがいなくなれば、こども図書館にも人は来ない。【枝野地区】
- ④角田いらっしゃいプランを作っても魅力のあるまちでないと誰も住まない。魅力あるまちにするにはどうするか。観光についても角田は素通りされる。また、いらっしゃいプランと振興計画はマッチしているのか。前沖地区は年寄りばかりで限界集落のようだ。この予算で年寄りに何をしてくれるのか。【横倉地区】

当日の回答

- ①新規転入者等への住宅取得支援策として内容を見直し、新たに3カ年事業として平成22年度から再スタートします。改正点としては、加算方式の補助制度になっており、「転入者」「子育て世帯」「角田大工利用」に該当する場合に補助基本額に加算する制度を設けています。補助金の対象となるのは、過去2年以上にわたり角田市に住民登録をしていない方等で本年4月1日以後に定住の目的で角田市に転入する方、又は夫婦世帯の方(転入者以外の夫婦で、そのいずれか一方の年齢が45歳未満であり、市内に定住する意思を持っている世帯)□補助額は基本額と加算金を合算した金額となります。基本額は20万円、加算金は転入者にあつては30万円、子育て世帯にあつては最大20万円、かくだ大工を利用した場合は30万円となります。
- ②いらっしゃいプランがあるにもかかわらず、ケーヒンの工場集約で角田市へ移住された方は、予想をはるかに下回り、子育て世帯のほとんどは名取市、岩沼市、柴田町を選択された。そこに角田市としての課題がある。、議会としても、魅力あるまちづくりをめざし、諸々提言していきます。
- ③3月定例会で2名の議員から「地域医療」、「小児医療」について一般質問がありました。これらの問題については、議会でも角田の重点施策のひとつとして重要視しています。持ち帰り検討させていただきたいと思います。
- ④いらっしゃいプランは定住人口をどう増やすかというテーマでやっています。この5年間の事業で、ある程度の実績が出ました。観光も角田の重要な産業であるので、更に議会としても取り組んでまいります。前沖地区については、地域住民の意見をもとに地区振興計画によって進められるべきだと思います。

今後の取組み

新プランは、「誰もがわかりやすく使いやすく、より効果の上がる制度」を基本的な考え方とし、一定の基本補助額に加えて「転入者」「子育て世帯」「かくだ大工利用」に加算制度を設けています。対象者は転入者の方(過去2年以上、角田市に住民登録をしていない方等で平成22年4月1日以後に角田市に定住の意思をもって転入する方)、又は夫婦世帯の方(転入者以外の夫婦で、そのいずれか一方の満年齢が45歳未満の夫婦であり、市内に定住する意志を有する世帯)□補助金額は補助基本額と加算金の合計額である。補助基本額は20万円、加算金は転入者加算金30万円、子育て世帯加算金として最大20万円、かくだ大工加算金30万円

定住促進、角田いらっしやいプランを活用して、平成17年7月の事業開始から平成21年度までの5か年間に93世帯250名の方の転入がありました。年度別の実績については次のとおりです。

■平成17年度 5世帯 13人 ■平成18年度 18世帯 41人
 ■平成19年度 24世帯 65人 ■平成20年度 22世帯 70人
 ■平成21年度 24世帯 62人

なお、子育て支援や都市との交流、定住対策など魅力あるまちづくりを進めるため、現在、向こう10か年間のまちづくり計画の策定を目指しています。【回答:政策企画課】

No. 22

意見・質問・要望等

いらっしやいプランは確かにすばらしいと思うが、残念なことに角田市から出ていく人もいる。理由は通勤・通学で利用する阿武隈急行の料金が高いからと言っていた。今までは仙台まで通勤に利用していたが子供が通学するようになり、阿武隈急行の料金に加え仙台市内ではバスを利用し負担が増えたからと言う。角田市から出ないように、阿武隈急行の料金をJR並みの料金にしたい。また通勤・通学者に対して市で補助を出すようにしてほしい。【角田地区】

当日の回答

その通りと思います。イベント等をして利用促進を図りたいと思います。通学者に対しての補助については要望として受けました。

今後の取組み

阿武隈急行の平成20年度運賃収入は約7億4千万円で、輸送人数は約268万人です。□阿武隈急行(株)の試算によると、JRの料金体系を採用した場合、運賃収入は約2億円の減収(△28.2%)になる見込みである。これに見合う運賃収入を確保するためには、輸送増人員としては120万人の乗車人員の増が必要となります。この現状を考えると、運賃をJR並みにすることは困難と思います。【回答:政策企画課】

No. 23

意見・質問・要望等

・いらっしやいプランについて、平成21年10月23日付、議会報告会報告書(22ページ、28ページ) 予算が増えるようなことではないのでは。□
 ・転入者がいらっしやいプランがあるから角田にきたのかどうか、別の理由で角田に来たのか、本当にこのプランで角田に来た方を調査しているのか。【角田地区】

当日の回答

この事業は平成21年度で5年間の事業期間が満了しました。平成22年度から内容を見直し3か年計画で新たな事業として再スタートします。

今後の取組み

いらっしやいプランの該当者には、本市に住もうと考えた理由やこの制度をいつごろ、どんな方法で知ったかアンケート調査表に記入して頂いている。【回答:政策企画課】

意見・質問・要望等

4年前から協働のまちづくりがスタートし、公民館が自治センターになった。自治センターではこれまでの公民館事業と協働のまちづくりの振興協議会事業の両方でやっている。枝野公民館の事業費は昨年40万円いただいたが、今年は10万円減額された。これでは公民館事業ができなくなる。一方で振興協議会の予算は増えていない。どのようにして地域を盛り立てていくのか、議員の方々の見解を聞きたい。公民館事業と協働のまちづくりの事業とどちらが大事なのか。はっきりしてほしい。振興協議会の事業は市長部局、公民館事業は教育委員会部局で、両立でやっていくのか。今後どのように進めていくのか将来像を明確に示してほしい。今は地区計画を策定期間とあって、市役所の職員も応援してくれているが、今後もこの状態が続くのか。【枝野地区】

当日の回答

自治センター長あるいはそこで働く方々の仕事は非常にご苦勞をなさって大変だと思います。先進地事例は10年以上かけてスタートしている所もあり、少しずつ変化して協働のまちづくりが地域に定着していったのだと思うが、角田の場合はその速度が速いようです。今は、協働のまちづくりの過渡期にあると思っています。

今後の取組み

自治センターは、角田市教育委員会行政組織規則第18条の規定に基づいた教育委員会の所管する組織であるが、自治センターのあり方については、生涯学習課と政策企画課で検討中です。地区振興協議会の市の予算としては、地域づくり総合交付金があるが、大きく分けて地区振興協議会の運営・活動費の事務費と各種団体への地域活動費（江払い・公園維持管理など）に分けられ、将来的には、事務費以外の交付金は、地区や行政区等の裁量にて活用できること目指しているが、現状は、各種団体の調整役である地区振興協議会では、予算配分を変えるまでには至っていないため、政策企画課と地区振興協議会をトンネルして各種団体へ交付している状況です。なお、平成22年度は、各地区振興協議会で部会活動が行われてることから、部会活動費にも使える事務費を数万円程度予算を増額している。平成18年度の協働のまちづくりスタート時点から、当時の地域振興課で職員の地区担当制を構築し、必要に応じて、地区振興協議会の事務等支援しており、平成22年度も支援している状況です。【回答:政策企画課】

意見・質問・要望等

グリーンフィールド市交流について、遠くの町と交流することも大事だがもっと近くの韓国や中国とも交流してほしい。アメリカと交流する前に隣の国と交流すべきではないか。【角田地区】

当日の回答

アメリカとの場合は式典、中国や韓国の場合は友好と経済効果と貿易という点で考えていかなければならないと思う。また、隣国と交流することも大切と考えている。グリーンフィールド市交流20周年事業については、議会でもいろいろと問題として取り上げて要望しており、市長預かりの状態になっている。

今後の取組み

角田市とグリーンフィールド市は、現在の(株)ケーヒンが合弁企業をグリーンフィールド市に設立した事がきっかけとなり、平成2年9月12日に姉妹都市締結をしました。その後、両市による中・高校生を対象とした交流事業(ウイング事業)等が行われている。今年にはウイング事業の他に20周年の記念事業を行う予定である。□近隣諸国の交流としては、平成12年度に角田ふるさと夏祭りの「アジアふれあい広場」に出席していた、中国青洲市出身の東北大学留学生の橋渡しで、角田市と青洲市の友好関係の樹立を前提に、平成12年度から平成17年度まで相互の視察研修が行われた。平成12年度と平成14年度に青洲市を訪問、平成13年度、平成16年度、平成17年度に角田市を訪問し相互に視察研修を実施した。しかしながら、青洲市の市長が短期間で代わったり平成15年度のサーズの影響で交流を休止したなど、いろいろな行き違いがあり友好関係締結への実務的な話が進まず交流が無くなった経緯がある。【回答:政策企画課】

国際交流事業に公費を投入するのなら、どのような経済効果を期待するかということを踏まえた戦略を練るべきで、成果結果を示せるように企画立案するのが望ましい姿であると思われます。【回答:議会】

意見・質問・要望等

①外交は国でやるべきことであり、地方は地方でやるべきことが沢山あるのではないかと。グリーンフィールド市との交流について、税金を使っているのであれば、このような財政状況の中ではもっと吟味し、きちんと報告をしてほしい。【横倉地区】

②グリーンフィールド市交流20周年記念事業に779万円の予算がついているが、この予算の根拠はどのようなものか。【桜地区】

③財政困難であるという状況なのにグリーンフィールド市との交流事業にこれだけかけるのはいかがか。現時点の政策に合わないのではないかと。しない方がよい。【桜地区】

④予算の779万円は、どのように使うのか。自費で行くことをしないのか。自費で行く計画はないのか。市長をはじめ市職員は角田市の金を使う必要はない。自費で行く気持ちがあっても良いのではないかと。税金の無駄使い。

交流に行く人がいないため、また同じ人が行くのではないかと。

グリーンフィールド市交流20周年記念事業について、20年間交流をして少なくとも成果があったはずではないかと。20年の交流の成果をなぜ堂々とアピールしないのか。【角田地区】

当日の回答

①派遣団が行くにあたっては、審査は厳しく、経費については個人負担もあります。更に吟味するように、今回の予算執行については、内容の充実を要望しています。

②6月にグリーンフィールド市からの受け入れ236万円、10月に角田から派遣団16人が訪米する費用として543万円となっています。角田市からの参加者負担金として2分の1を徴収します。

③ご意見として伺います。議会としても修正できるところはすべきと進言します。

④今回この予算には修正動議があがる寸前まで行きました。総括質疑で、こんな不景気な時にこの交流にこれくらいのお金を掛ける価値は何かあるのか、市民の皆さんにとって何かメリットがあるのかという話を致しました。

交流の内容は6月中旬に交流20周年記念事業としてグリーンフィールドより約20名が角田市にきて交流会等を行うのに236万円が掛かります。

また、8月には従来の交流事業として角田の中高生が英語研修としてグリーンフィールド市へ行きます。そして10月には市長、議長、教育長、職員3名の6名と市民10名の合計16名でグリーンフィールド市へ行き、交流するのに543万円が掛かります。なぜ8月に中高生と一緒に行って記念交流を行わないのか、話を致しました。今の時期にお金を掛けて交流することは市民の方は納得しないと思います。市長は各派交渉委員会で、「今は、このまま認めて頂き、市民の皆様が納得できる内容にし補正予算を提出する」と言いましたので補正予算を提出することを前提で新年度予算を認めました。

総括質疑で、今まで交流を行ってきただけでどういことが良かったのかを聞きましたところ、交流事業でグリーンフィールド市に角田の子供達が行くことにより語学力が付き成長したとか、実際に成長して帰ってきた子供の姿をみた、ということでした。議会としては子供達の交流はいけないといっていない。10周年をやり、20周年をやることの違いは何ですか。式典の違いをどうするのか、位置づけをどうするのか、今後どうするのかを市長に質問しました。市長は前回行ったからという答弁でしたので、これは修正しかない、これでは市民に説明できないという思いから議会としても要望しております。6月には修正した補正予算が提案されると思います。

今後の取組み

グリーンフィールド市との姉妹都市締結から20周年を迎えるに当たり、平成22年6月にはグリーンフィールド市の訪問団の受け入れ、10月には角田市の派遣団がグリーンフィールド市を訪問し、相互に記

念式典等の交流事業を行い、両市のより一層の交流を推進することを目的としています。

【受入事業の概要】

■受入事業総額2,355,000円(参加者負担金580,000円・一般財源1,775,000円)

■事業内容:グリーンフィールド市より訪問団約20名(姉妹都市協会会長、市議会議員、警察署長、消防署長、学校長等)が6月17日(木)～6月21日(月)までの5日間の予定で当市を訪問し、市内の公署や事業所等の表敬訪問、記念式典等の開催しました。

【派遣事業の概要】

■派遣事業総額5,431千円(参加者負担金1,500千円・一般財源3,931千円)

■事業内容:角田市派遣団16名(市長、議長、教育長、市職員等の市関係者6名と一般市民10名)が平成22年10月7日～10月13日まで訪米し、うち10日までの4日間グリーンフィールド市に滞在し、公署やケーヒン事業所等の表敬訪問、記念式典やライリー祭への参加を予定しています。訪問団の市関係者は今回の訪問が初めてです。また、一般参加者については今後広報等で募集する予定です。これまでの実績ですが、平成3年度から中学生、高校生を相互に派遣・受入するウイング事業が始まり、平成20年度までに角田市から計17回194名(中・高校生、引率者)がグリーンフィールド市を訪問し、グリーンフィールド市からも計17回196名(中・高校生、引率者)が角田市を訪れています。また、その都度、交流の内容については、毎年「広報かくだ」でお知らせしています。なお、派遣事業については、派遣人数を削減する方向で検討している段階です。【回答:政策企画課】

国際交流事業に公費を投入するのなら、どのような経済効果を期待するかということ踏まえた戦略を練るべきで、成果結果を示せるように企画立案するのが望ましい姿であると思われます。【回答:議会】

No. 27

意見・質問・要望等

姉妹都市の交流をしているが効果はあるのか。どこの市町村でも交流しているが、その効果は出てこない。外交は国がやるもの。地方は地方のやり方があると思う。税金を使っている以上キチンとした効果を報告してほしい。【横倉地区】

当日の回答

そもそも米国グリーンフィールド市との姉妹都市締結は、(株)ケーヒンの海外進出に端を発しています。海外進出するには国際的な人材を育てなければならないことや、相互の経済発展、文化交流を図るため、姉妹都市締結をした。以来、グリーンフィールド市とは、中高生がホームステイなど相互交流をしている、その中で英語の教師になった方がいます。国際的な人材を育てなければなりません。

角田市では英語特区になっていたこともあり、英語教育は盛んです。実績や成果が分かれば、市民の皆さんにも、理解していただけたと思います。

今後の取組み

本市は、教育、文化、産業等の交流を図ることを目的として、福島県石川町・北海道栗山町・東京都目黒区・米国グリーンフィールド市と姉妹都市・友好都市を締結し交流しています。

今年20周年を迎えるグリーンフィールド市とは、平成3年度から中学生、高校生を相互に派遣・受入するウイング事業が始まり、平成20年度までに角田市から計17回194名(中・高校生、引率者)がグリーンフィールド市を訪問し、グリーンフィールド市からも計17回196名(中・高校生、引率者)が角田市を訪れている。交流の内容については、毎年「広報かくだ」でお知らせしています。【回答:政策企画

No. 28

意見・質問・要望等

①基金の中に文化会館建設基金とあるが、建てる計画はあるのか。
【桜地区】

②市民センターの老朽化がひどい。和室の畳は、最近直したようだが、ステージの暗幕は非常に粗末だ。「角田の顔」として、きれいに化粧直ししてほしいものだが、改修や建て替えなどの整備をする計画はないのか。【西根地区】

当日の回答

①平成24年に市民センター、図書館の耐震調査をすると聞いているが、結果により補強していきたいとの市の意見を聞いている。

②市民センターの改修については、3月定例会で一般質問で市長に考えを伺いました。その際に整備してもらおうよう答弁をいただいています。市民センターは文化活動の拠点として使用されている。管理体制をしっかりとるよう議会でも要望していきます。毎年、経常的な改修の予算は組んでおり、平成22年度も改修の予算(180万円程)はある。できることからやっていきたい。今のところ建て替えの計画はありません。

今後の取組み

角田市文化会館建設基金は、本市の文化会館を建設するため、平成2年に基金を造成し積立ててきましたが、平成21年度に角田市土地開発公社経営健全化のために貸付金の財源として、繰替運用してきたところです。その後、貸付金は数年のうちに回収していきますが、現在の市民センターは、昭和46年の建築で40年近く経過していることもあり、耐震指標も基準を下回っており、大分、老朽化しています。□今後、大規模改修などの耐震化工事が喫緊の課題であるので、23年度に基本設計を行い、耐震性の脆弱な大ホールを中心に検討していく予定です。【回答:政策企画課】

No. 29

意見・質問・要望等

財政調整基金の残高見込みについて、平成21年度予算の資料では平成21年度末残高見込で7億7千万円、平成22年度予算の資料で平成21年度末見込で12億3千万円になっているが、なぜ金額が違うのか。【藤尾地区】

当日の回答

持帰り調査します。

※事後、質問者に対し、調査資料を提出して説明を行いました。

今後の取組み

今回の平成21年度末の財政調整基金の残高見込み12.3億円に対し、前年度資料が7.7億円で、4.6億円の相違となっている理由ですが、平成20年度決算では、取崩額が当時の見込みより2.6億円減となったこと、及び平成21年度の当初予算での取崩額と比べて年度内の補正により取崩見込み額が2億円減となったことによるものです。【回答:財政課】

No. 30

意見・質問・要望等

平成21年度の公債費はいくらか。【東根地区】

当日の回答

平成21年度当初予算の公債費は、一般会計で13億7300万円になります。

今後の取組み

平成21年度の公債費は、一般会計で13億7300万円になります。借り換えした5500万円を除いた、実質的な公債費は13億1800万円になります。【回答:財政課】

No. 31

意見・質問・要望等 テレビが増えたが、市の財源で買ったのか。【角田地区】

当日の回答 国からの補助金で購入しました。購入については、市内の業者から購入するよう議会からも働きかけ、市内から購入しました。

今後の取組み 報告会での回答のとおりです。【回答:財政課】

No. 32

意見・質問・要望等 岡駅前市有地の土地売却について、今年度の予算に組み込まれているのか。また、岡駅前市有地の以外、活用していない土地は部分的なものか。【北郷地区】

当日の回答 利用目的がなくなったので、一般会計で買い上げることになりました。岡駅前以外の未活用土地の売却を検討中です。今年度の予算の中には、まだ組み込まれていません。

今後の取組み 報告会での回答のとおりです。【回答:財政課】

No. 33

意見・質問・要望等 角田に住んで良かったなあと思う予算は、どこにあるのか。【横倉地区】

当日の回答 「ゆりかごから墓場まで」というように一生涯を安全で安心して暮らしていけるのが理想だと思います。地方においては少子高齢化、医療不安、財政難などが、構造的なものになっているが、これらの問題を解決するために頭を悩ませているところです。小児科医院や耳鼻科医院が市内から無くなってしまい、市民も不安になっている。どうすれば角田に来てくれるのか。老人ホームの空きや結婚難にあえいでいる人達にも夢と希望を持たせるよ施策を提言してまいりたいと思います。

今後の取組み 全国的に人口減少が進展している中で、今後、角田市が地域間競争の中で生き残っていくためには、基盤となる産業を支援・育成し、安定した市民所得を確保していくことが肝要であるが、中でも子育て支援、企業誘致、定住対策、都市との交流などの施策を積極的に推進し、魅力あるまちづくりを進めていくことが必要である。□特に、一つの都市に永く定住するためには、安心した市民生活を送れることが重要であるが、本市では、出生する前からお年寄りまでのライフステージにおいて各種施策を行ってきているが、特に子育て支援に対しては次のような事業を積極的に行うものである。
 ■安心マタニティ事業(妊婦健康診査の回数アップのための助成事業)
 ■保育対策充実等事業(延長保育・障害児保育・低年齢児保育)
 ■放課後児童対策事業(学童保育の充実)・・・等【回答:政策企画課】

No. 34

意見・質問・要望等

まちなかの空き店舗や市内各地に空き家があり、西根でも空き家が増えている。これを有効活用できないものか。市はその実態を理解しているか。また、方策を持っているのか。【西根地区】

当日の回答

議会で議論はしていないが、空き家を活用したいらっしゃいプランの検討をしているようです。他市町村の状況では、丸森町の筆甫は人気が高いそうです。これを検討するには、時間をいただきたいと思います。

今後の取組み

商店街の空き店舗について、角田市商工会が各商店会会長に確認したところ、平成22年6月1日現在で商工会内の営業店舗は165店、空き店舗は57店、空き店舗のうち活用できる店舗は43店との調査結果がありました。空き店舗が生じた原因としては、経営不振や後継者難といった理由が多かったようです。空き店舗問題は、角田市のみならず全国の多くの市町村が抱える課題であり、一朝一夕には解決が困難です。行政の取り組みもさることながら、商店街のみなさんの考え方や思い、事業後継者ということもまた重要な要素かと考えます。総合的に考え、取り組んでいく方向になるのかと料します。

【回答:商工観光課】

空き家の問題について、市内外の方が角田に住んでいただけるよう、定住促進に向けて今後も検討していきます。【回答:政策企画課】

No. 35

意見・質問・要望等

納税組合の奨励金の額が下がった。年々下がっている。これ以上下がらないようにしてほしい。【角田地区】

当日の回答

国保税で3億3000万円、市民税で1億円が未納になっています。景気が良くなると良くはならないと思われま。早く景気が良くなるよう願っています。

今後の取組み

市税等の納期内完納した納税貯蓄組合に対し、組合奨励補助金を交付しています。補助金の交付基準額は、ここ数年で3回ほど見直しをしています。この補助金は、納税思想の普及や市税等が納期限内に完納できるよう納税貯蓄組合の健全な発達を図るために交付しており、完納の見返りという趣旨ではありません。【回答:税務課】

No. 36

意見・質問・要望等

・市税が減っているようだが、「ふるさと納税」はどれくらいあるのか。役所は、寄附を待っているだけなのか。例えば、市外から来ている職員は、積極的に寄附したらどうか。また、役所の方も、「ふるさと納税」を積極的に売り込んだらどうか。
 ・市外の人への給与2億4千万円をただ、市外に流しているだけ。いらっしやいプランで、役所が売り込んでも、職員は市外に住んでいる。職員意識はどうなっているのか。また、職員の駐車場の使用についても有料化にすべきだ。【角田地区】

当日の回答

・ふるさと納税制度の積極的な売り込みはしていません。寄附者も数人で、金額的にもわずかです。
 ・寄附についても、居住についても強制することはできません。
 ・駐車場については、きちんと整備(整理)していきたいと思えます。

今後の取組み

・ふるさと納税は、平成20年度から制度化されスタートしましたが、本市の実績は次のとおりです。
 ■平成20年度 4件 1,080,000円
 ■平成21年度 5件 1,250,000円
 ふるさと納税制度につきましては、これまで市の広報やHP等で実績や制度の内容を周知してきているが、特に「ふるさと 角田」に想いを馳せる人へのPRが必要であるため、東京臥牛会などの会合に市長自ら赴きPRをしています。【回答:政策企画課】
 ・市外に住んでいる角田市職員について、角田市内に強制的に転居させることはできません。【回答:総務課】
 ・職員の駐車場の使用について、有料化は今のところ検討しておりません。【回答:財政課】

No. 37

意見・質問・要望等

議場の市当局側に座席が34席あるが、実際に答弁する人はそんなにいない。必要ないのなら説明員は出席しなくてもいいのではないか。【角田地区】

当日の回答

現在、関係者に限定する見直しをしました。

今後の取組み

第349回臨時会より、定例会や臨時会のほぼこれまで本会議については全部課長が出席していましたが、見直しを行いました。本会議に出席する者については、当日の会議の内容に対応した担当関係部課長にとどめ、その他の課長にあつては、所掌事務従事することになりました。【回答:総務課】